

第17回長島すいせんウォーク



折り返し地点を過ぎても疲れを見せず、どんどん進む子どもたち

歩いて長島路の景色を堪能

1月19日、「第17回長島すいせんウォーク」が開催されました。

当日は、県内外から約1300人が参加。町文化ホール前を発着点として、小浜崎古墳群を周回する6^{キロ}の古墳めぐりコースと長崎鼻灯台を折り返す12^{キロ}のすいせんめぐりコースに参加者は心地よい汗を流しながら、楽しみました。

開会式後に参加者全員で準備運動が行われ、午前10時にすいせんめぐりコース、10分後に古墳めぐりコースがスタートしました。

沿道の花壇を埋め尽くす満開を迎えたスイセン、起伏の激しい長島路から見渡す東シナ海の眺望に参加者は時折足を止め、魅せられた様子でした。

長崎鼻灯台公園では、ボランテニアからのふかしジャガイモやお茶のサービスを受けたほか、灯台を背に記念撮影をするなど思い思いに息抜きをしました。

ゴール後は、恒例の本町の特産品が当たる抽選会が開かれ、にぎわいを見せました。

出水市から家族6人で参加した西清香さんは「ふかしジャガイモが美味しかった。抽選会でもタイが当たって嬉しい」と笑顔で話しました。

①上り坂、スイセンの前で一休み②スタート直後。参加者とタッチしながら送り出す、はなちゃん③ふかしじゃがいもを手に笑顔の参加者

